

会 議 録

会 議 の 名 称	行田市商業振興事業助成審査委員会
開 催 日 時	平成 20 年 10 月 1 日（水） 開会：午前 10 時 00 分・閉会：午前 10 時 30 分
開 催 場 所	市役所 203 会議室
出席者（委員） 氏 名	東美智子、小池利昌、棚澤 栄、棚澤 恵
欠席者（委員） 氏 名	江黒 宏
事 務 局	藤間課長、吉田主幹、青山主事
会 議 内 容	①行田市商業振興基金の取り崩しについて ②行田市商業振興事業の助成事業及び助成金の審査について ③その他
会 議 資 料	（資料名・概要等） 別添のとおり
そ の 他 必 要 事 項	傍聴人なし

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
	<p>開会の宣言（吉田主幹）</p> <p>新委員自己紹介</p> <p>委員長あいさつ</p> <p>（議事）</p>
東議長	<p>議題(1)行田市商業振興基金の取り崩しについて、議題(2)行田市商業振興事業の助成事業及び助成金の審査について、事務局からの説明を求める。</p>
事務局	<p>別紙資料に基づき、基金から今年度 1,000 万円を取り崩し、プレミアム商品券発行事業等に支出したい旨を説明。</p>
東議長	<p>この件について委員からの質問・意見等を求める。</p>
棚澤栄委員	<p>電灯料助成金の不要額が多いので予算額を見直す必要があるのではないか。</p>
事務局	<p>財政当局に適正な額を要求していくようにします。</p>
棚澤恵委員	<p>電灯料の関係だが、1本の単価が団体ごとに大分違うようだ。ワット数の違いかと思われるがこのあたりの調査は行っているのか。</p>
事務局	<p>現在のところ行っておりませんが、実態調査が必要と考えております。</p>
棚澤恵委員	<p>基金の残額が少なくなっているが、今後どうするのか。</p>
事務局	<p>当課としては、商業活性振興策としてのプレミアム商品券の重要性を認識しており、財政当局と調整して検討したいと思います。</p>
小池委員	<p>電灯料の関係だが、これは4月分電気料の12倍を年間経費とみていることから、それを利用してその期間だけ常時点灯させている団体があるようだ。また、プレミアム商品券については現在700万円頂いているが、基金の残額が少なくなっていることから、例えば、125号線の電線地中化に伴い設置されたモニュメントが風化により一部破損してしまっているため、その部分の整備に活用す</p>

事務局	<p>るといったように、形として残していくように使い途を考えないといけないと考えている。</p> <p>街路灯の常時点灯の件については調査が必要と認識しています。また、モニュメントの件については、現在ものづくり大学の協力を得て整備を図る方向で話を進めています。</p>
小池委員	<p>プレミアム商品券は発行額を現在の 7,000 万円から 5,000 万円に減らすことや、プレミアム率を 10%から 5%に減らすといった話も出てきている。まだ意思決定というところまではいっていないが。</p>
東議長 事務局	<p>議題(3)その他について、事務局から何かあるか。</p> <p>次回の開催時期についてお諮りいたします。</p> <p>(事務局一任の声)</p>
東議長	<p>次回の開催時期は事務局一任ということでよろしいか。</p> <p>(異議なしの声)</p>
東議長	<p>では次回の開催は事務局一任ということとする。</p> <p>一通り意見が出たので議長退座。</p> <p>閉会の宣言 (吉田主幹)</p>